

令和6年度

わ か り や す い

決

算

書

雄武町



決算の全体像は？(1)

◎決算総額は102億2,835万円

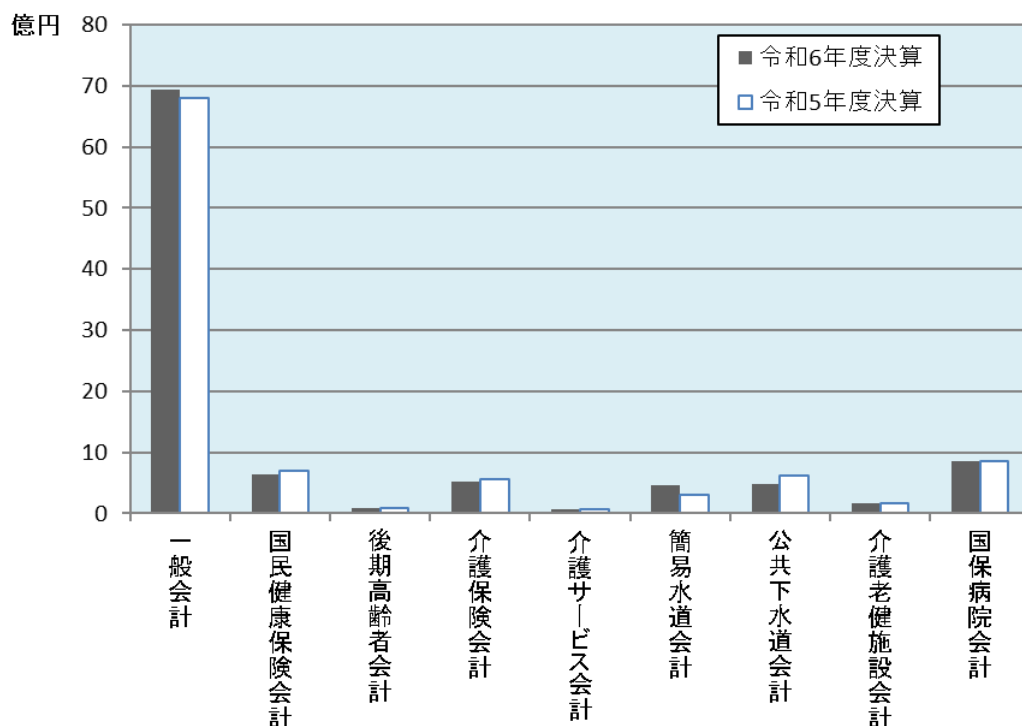
令和6年度決算総額は、102億2,835万円となっており、前年度に比べると8,207万円増加しました。

なお、当初予算に比べると1億9,676万円増加となっておりますが、主な要因としては、物価高騰対応重点支援臨時交付金事業と基金積立によるものです。

各会計別の決算額（歳出）

会計区分		令和6年度決算	令和5年度決算	比較増減
一般会計		69億4,185万円	68億290万円	1億3,895万円
特別会計	国民健康保険事業会計	6億3,913万円	7億446万円	△6,533万円
	後期高齢者医療事業会計	9,102万円	8,387万円	715万円
	介護保険事業会計	5億2,720万円	5億6,284万円	△3,563万円
	介護サービス事業会計	7,027万円	6,193万円	834万円
	介護老人保健施設事業会計	1億7,154万円	1億6,467万円	687万円
簡易水道事業会計		4億6,091万円	2億9,667万円	1億6,424万円
公共下水道事業会計		4億7,400万円	6億1,130万円	△1億3,731万円
国民健康保険病院事業会計		8億5,243万円	8億5,764万円	△521万円
合計		102億2,835万円	101億4,628万円	8,207万円

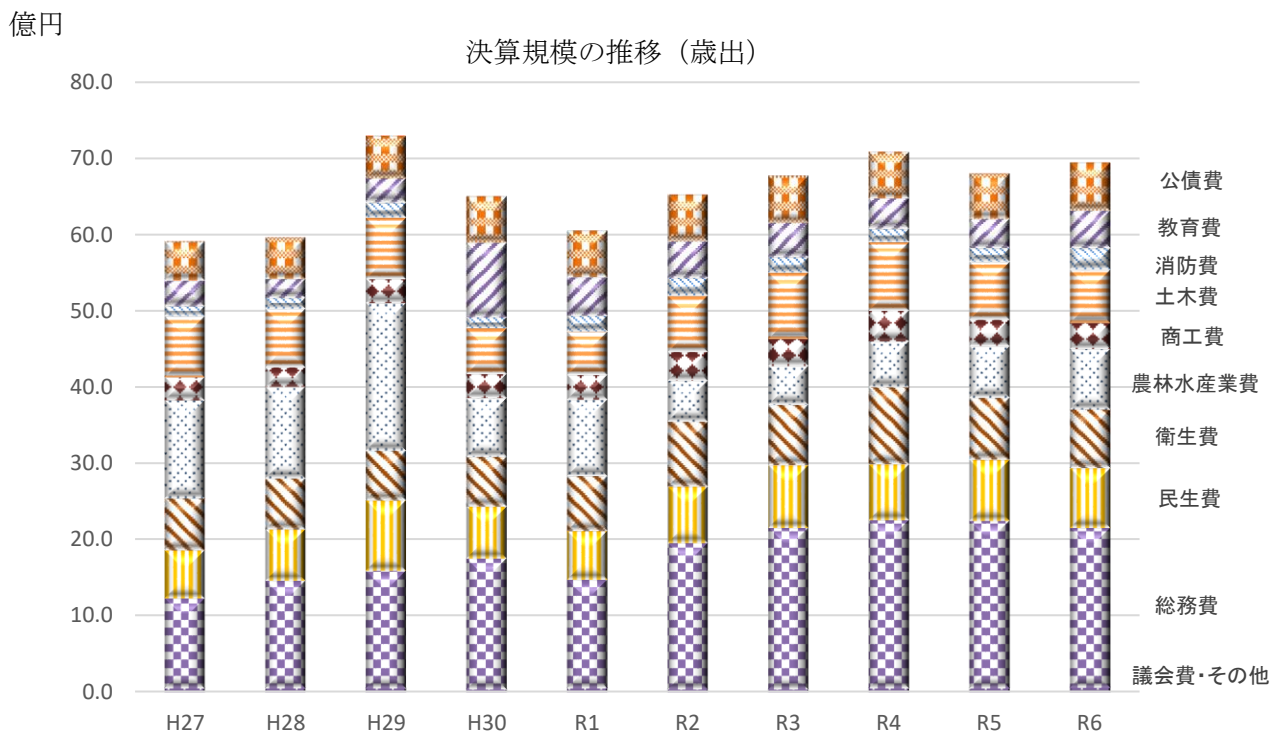
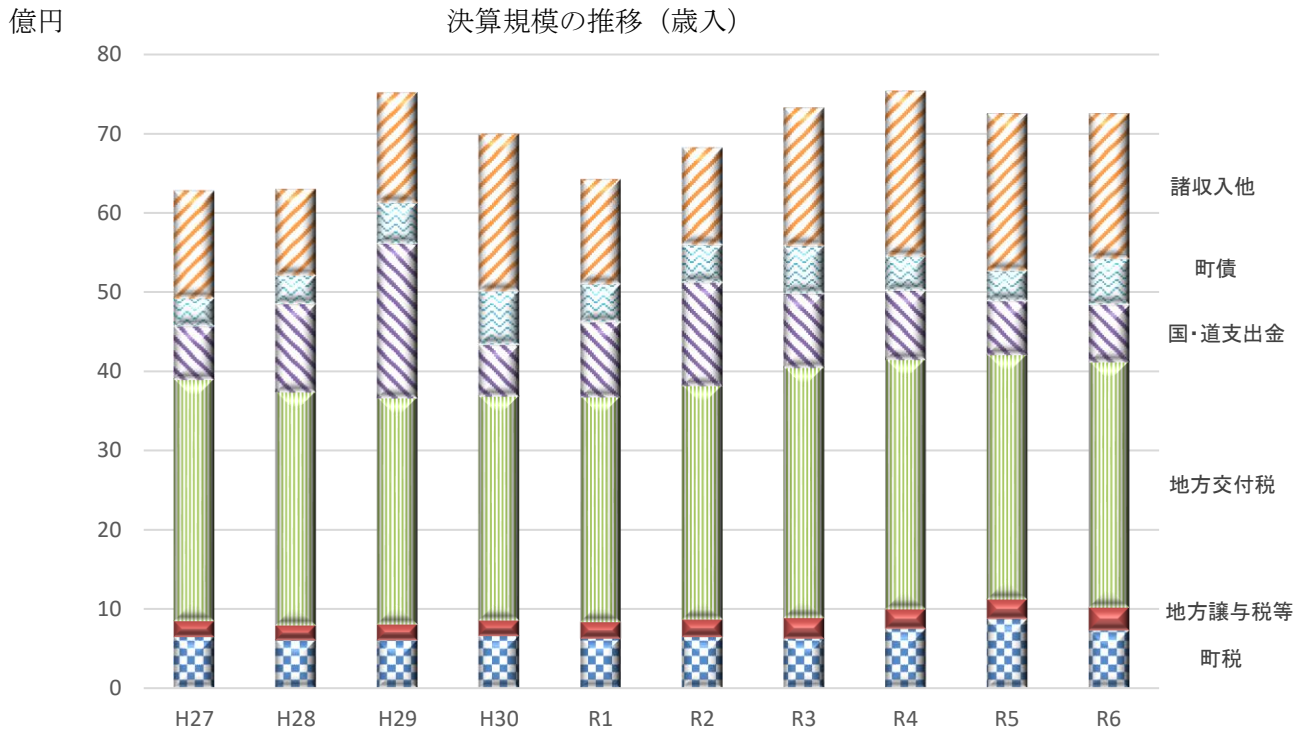
※簡易水道事業会計及び公共下水道事業会計、国民健康保険病院事業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。



決算の全体像は？(2)

◎一般会計の決算規模の推移は？

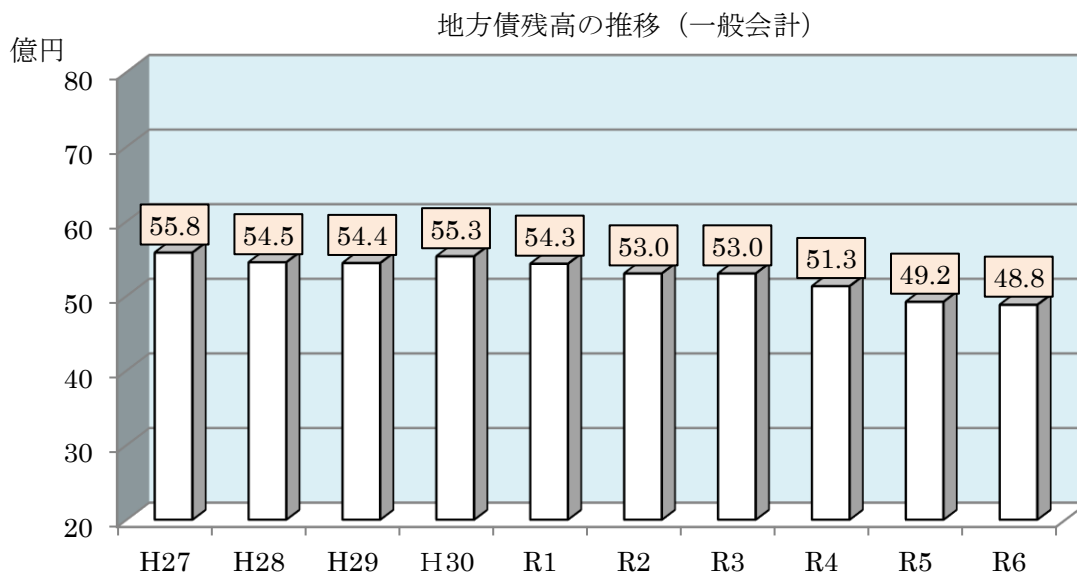
一般会計ベースで、決算規模を比較してみると、次のようになります。
歳入は72億5,287万円となり、歳出は69億4,185万円の決算額となりました。



決算の全体像は？(3)

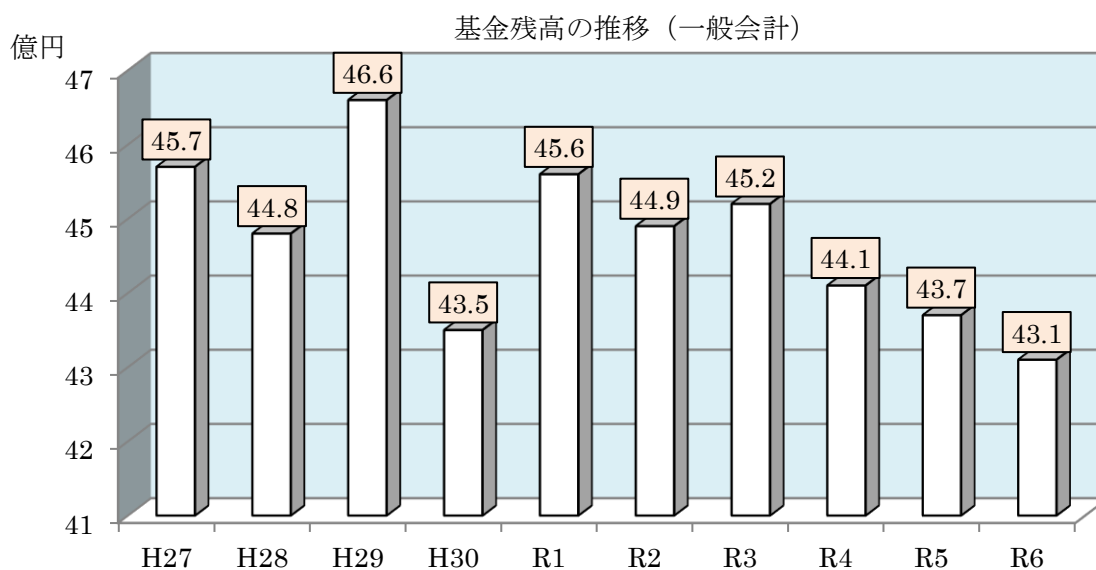
◎借入金（地方債残高）は？

一般会計の地方債残高は、ピークの平成 11 年度末で 87 億 3,674 万円でありましたが、その後の発行の抑制と償還が進んだことから、令和 6 年度末で、48 億 8,155 万円となりました。



◎もしもの貯え（基金）は？

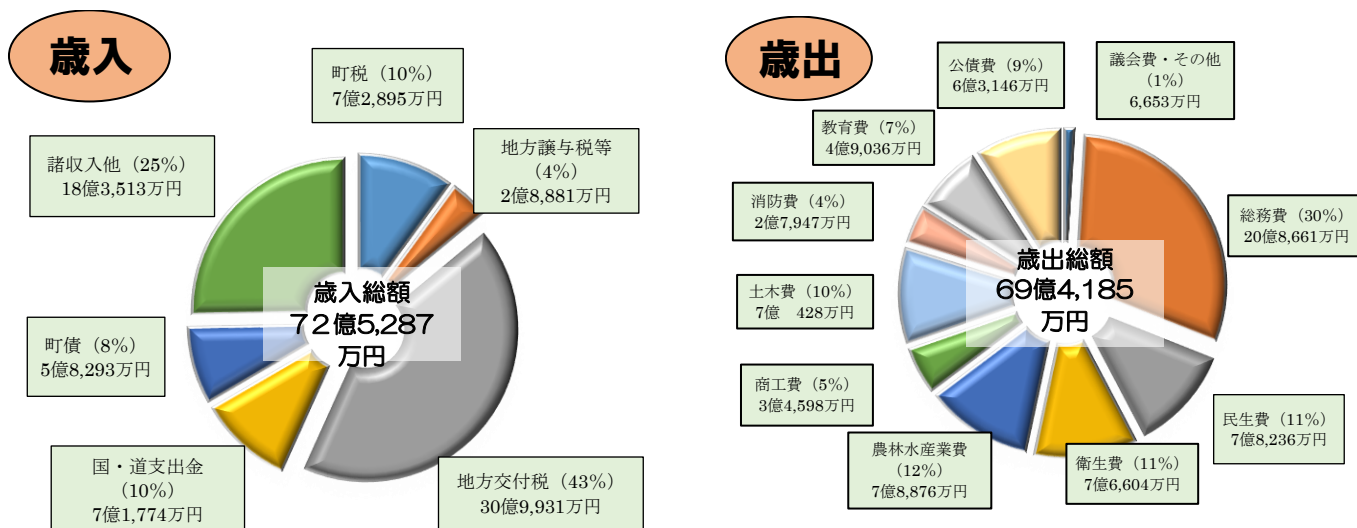
町では、災害復旧などの突発要因や財源不足に対処するため、あるいは特定の目的を持って、基金を設置しています。令和 6 年度は財政調整基金及び減債基金、ふるさと応援基金の一部を使ったため、令和 6 年度末基金残高は、財政調整基金他 15 基金で、43 億 1,272 万円となりました。



決算の内訳は？

◎決算の内訳は？

令和6年度一般会計の歳入は72億5,287万円となり、前年度に比べると213万円減少しています。また、歳出は69億4,185万円となり、前年度に比べると1億3,895万円増加しました。



◎引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）の用途について

引き上げ分の地方消費税交付金は、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされており、令和6年度雄武町一般会計決算における社会保障施策経費への充当状況は、下記のとおりです。

(歳入)	地方消費税交付金（社会保障施策分）	6,287万円
(歳出)	社会保障施策に要する経費	1億3,574万円

事業名		令和6年度 決算額	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち引き上げ分の 地方消費税
			国・道 支出金	町債	その他		
社会 保険	国民健康保険事業	3,524	2,142	0	0	1,382	911
	介護保険事業	7,675	494	0	0	7,181	4,731
	後期高齢者医療事業	2,375	1,396	0	0	979	645
合計		13,574	4,032	0	0	9,542	6,287

※社会保障施策に要する経費のうち、充当事業のみ計上。

このようなことに使いました

政策目標①

躍動感あふれる産業のまち・雄武 ～地域産業の振興と雇用の創出～

●森林環境譲与税活用事業

事業内容	産業振興課 林務係
森林環境譲与税を活用し、森林整備等を進めるため、森林整備推進事業助成、コンテナ苗活用造林事業、運搬費負担軽減事業、ICT 化促進事業、高性能林業機械導入費用助成事業を行いました。	決算額 56,215 千円

●外国人実習生受入企業等支援事業

事業内容	産業振興課 水産係
外国人技能実習生等を受け入れている町内民間水産加工業者に対し、監理経費の一部を補助することにより、継続的な受け入れを促進し、経営の安定化を図りました。	決算額 16,204 千円

●雄武高等学校特産品開発プロジェクト支援事業

事業内容	産業振興課 商工観光係
雄武高等学校が取り組んだ特産品開発プロジェクトの継続支援のため、外部講師招聘等に係る委託料を支出しました。	決算額 1,100 千円

政策目標②

安心感の持てる福祉のまち・雄武 ～保健・医療・福祉の充実～

●感染症予防事業

事業内容	健康推進課 保健係
予防接種法に基づく定期予防接種を実施し、各種感染症への感染及び蔓延を防止する他、定期健診として結核検診の実施や感染症蔓延防止に関する知識の普及啓発、エキノコックス症対策要領に基づくエキノコックス症検診を行いました。	決算額 12,337 千円

●高齢者支援事業

事業内容	地域福祉課 社会福祉係
高齢者福祉の増進に寄与するべく、高齢者の交通費助成や緊急通報システムの設置、ホテル日の出岬入浴券の配布、厳寒期における暖房用燃料等の購入費助成などを行いました。	決算額 9,664 千円

このようなことに使いました

●子ども医療費助成事業

事業内容 高校卒業年度までの子どもで、健康保険が適用される医療費の初診時一部負担金を除いた額を助成しました。	地域福祉課 保険給付係
	決算額 11,976 千円

政策目標③

達成感から学ぶ教育のまち・雄武 ～教育文化の振興と拠点づくり～

●雄武高等学校存続対策事業

事業内容 雄武高校の存続対策及び人材育成の観点から、部活動に対する支援、町外から雄武高校に通学する費用の補助、自己研鑽して雄武高校が推奨している各種検定及び資格取得に対する助成、見学旅行への参加費用の助成など、様々な支援を行いました。	教育振興課 総務管理係
	決算額 23,962 千円

●学校環境整備事業(小学校分)

事業内容 学校施設の経年等に起因する老朽化に対し、安全面の観点や維持管理上必要な改修工事等を行っていますが、今年度は雄武小学校プレイルームカーペットの張替やサッシ水切り改修工事、沢木小学校体育館窓改修工事等を行いました。	教育振興課 学校教育係
	決算額 4,548 千円

●読書促進事業

事業内容 様々な学習目的と複雑かつ高度化する生涯学習ニーズに応えるため、蔵書の充実を推進し、講演会や各種イベントを開催しました。	教育振興課 図書業務係
	決算額 7,430 千円

政策目標④

快適感を満たす環境のまち・雄武 ～生活環境・生活基盤の充実～

●飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成事業

事業内容 飼い主のいない猫の増加を抑制するため、飼い主のいない猫への不妊去勢手術に要する経費に対し、補助金を交付しました。	住民生活課 環境衛生係
	決算額 327 千円

このようなことに使いました

●地域公共交通活性化事業

事業内容 本町における将来的に持続可能で利便性の高い交通システムの構築を図るため、地域公共交通計画を策定し、コミュニティバスの試験運行や運転手確保のため第二種運転免許取得費助成事業を実施しました。	公共交通対策室 対策係
	決算額 7,688 千円

●消防施設整備事業

事業内容 防災拠点としての機能を充実させるため、新日の出町地区サイレン塔改築、支署モーターサイレン取替工事、老朽化した雄武消防団第三分団詰所の新築工事を行いました。	消防雄武支署 警防係
	決算額 126,339 千円

政策目標⑤

連帯感を高める協働のまち・雄武 ～協働によるまちづくりの推進～

●地域間交流推進事業

事業内容 雄武町と友好関係にある自治体間との相互交流及びふるさと会への参加、民間団体による交流事業への補助を行い、地域間の交流を促進しました。	総合政策課 地域経営係
	決算額 4,085 千円

●ふるさと応援事業

事業内容 ふるさと応援寄附金をいただいた方に対して、返礼品(特産品)を贈呈し、自主財源の確保を促進させるとともに、町や特産品のPRにも結びました。	ふるさと納税推進室
	決算額 217,188 千円

●体育施設整備事業

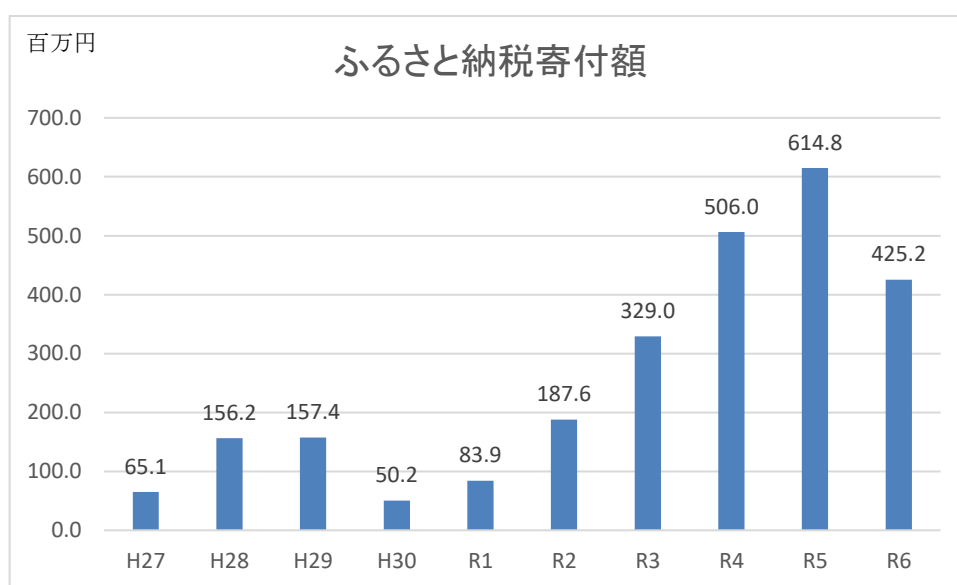
事業内容 体育施設を計画的に整備し施設環境を整えるため、風の丘スキー場の斜面整備工事とパークゴルフ場芝刈機購入を行いました。	教育振興課 社会教育係
	決算額 6,276 千円

ふるさと納税実績報告

◎雄武町への寄附状況

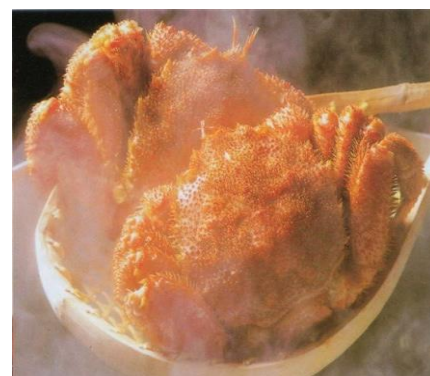
令和6年度の雄武町へのふるさと納税による寄附金額は、4億2,523万円となっており、前年度と比較して1億8,954万円減少しました。

お礼の品は、町内事業者の協力により、ホタテをはじめとした海産物、韃靼そば、チーズ、牛肉、ドレッシングなどの特産品の他、ホテル日の出岬の宿泊券を贈っています。特にホタテは大変好評で、全国の多くの寄附者に選ばれており、雄武町の魅力を感じていただいております。



◎寄附金活用事業

ふるさと納税による寄附金は、お礼の返礼品代や送料などの経費を差し引いた残りを「ふるさと応援基金」に積立てしています。また、寄附金は毎年度総合計画における政策目標に沿った事業の財源として活用させていただいており、令和6年度のふるさと応援基金を活用した金額は1億206万円となっております。



ふるさと納税実績報告

政策目標①

躍動感あふれる産業のまち・雄武 ～地域産の振興と雇用の創出～

活用事業

・観光PR事業ほか4件

活用額 3,049万円

政策目標②

安心感の持てる福祉のまち・雄武 ～保健・医療・福祉の充実～

活用事業

・子ども医療費助成事業ほか4件

活用額 2,954万円

政策目標③

達成感から学ぶ教育のまち・雄武 ～教育文化の振興と拠点づくり～

活用事業

・雄武高等学校存続対策事業ほか7件

活用額 1,840万円

政策目標④

快適感を満たす環境のまち・雄武 ～生活環境・生活基盤の充実～

活用事業

・オホーツク紋別空港利用促進助成金ほか1件

活用額 2,051万円

政策目標⑤

連帯感を高める協働のまち・雄武 ～協働によるまちづくりの推進～

活用事業

・学校支援活動推進事業ほか1件

活用額 312万円

指標で見る財政状況は？

○オホーツク総合振興局管内の財政状況（令和6年度）

（単位：％）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
雄 武 町	— (15.00)	— (20.00)	7.9 (25.00)	— (350.0)
北 見 市	— (11.52)	— (16.52)	12.5 (25.00)	153.5 (350.0)
網 走 市	— (13.02)	— (18.02)	15.8 (25.00)	123.9 (350.0)
紋 別 市	— (13.28)	— (18.28)	9.3 (25.00)	— (350.0)
美 幌 町	— (13.95)	— (18.95)	7.9 (25.00)	— (350.0)
津 別 町	— (15.00)	— (20.00)	5.4 (25.00)	— (350.0)
斜 里 町	— (14.39)	— (19.39)	10.8 (25.00)	34.2 (350.0)
清 里 町	— (15.00)	— (20.00)	9.1 (25.00)	— (350.0)
小 清 水 町	— (15.00)	— (20.00)	9.8 (25.00)	60.5 (350.0)
訓 子 府 町	— (15.00)	— (20.00)	8.5 (25.00)	— (350.0)
置 戸 町	— (15.00)	— (20.00)	9.4 (25.00)	— (350.0)
佐 呂 間 町	— (15.00)	— (20.00)	7.1 (25.00)	— (350.0)
遠 軽 町	— (13.35)	— (18.35)	12.0 (25.00)	33.8 (350.0)
湧 別 町	— (14.58)	— (19.58)	9.0 (25.00)	— (350.0)
滝 上 町	— (15.00)	— (20.00)	7.4 (25.00)	— (350.0)
興 部 町	— (15.00)	— (20.00)	7.9 (25.00)	— (350.0)
西 興 部 村	— (15.00)	— (20.00)	10.5 (25.00)	— (350.0)
大 空 町	— (14.74)	— (19.74)	9.7 (25.00)	2.0 (350.0)

注 1 （ ）は各市町村の早期健全化基準。市町村ごとの財政規模に応じて、実質赤字比率は 11.25%～15.00%、連結実質赤字比率は 16.25%～20.00%の範囲となる。実質公債費比率は 25.00%、将来負担比率は 350.0%で全市町村一律の基準となる。

注 2 「—」は実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率が発生していない。

用 語 の 説 明	
実質赤字比率	一般会計の赤字度合いを表した比率です。
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計及び公営企業会計の全会計を合算して、赤字度合いを表した比率です。
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3ヶ年平均）です。
将来負担比率	将来、支払っていかねばならない地方債や負担しなければならない債務を、標準財政規模と比較して表した比率です。

わかりやすい決算書(令和6年度決算)

編集 雄武町役場財務政策課

発行 令和7年12月